



# 八潮市長 大山しのぶ 風

## ニューズレター

■大山しのぶ事務所  
埼玉県八潮市八潮2-18-8  
パークアヴェニューK  
TEL.048-994-6000  
FAX.048-994-6001  
■最新情報はホームページで  
<http://www.s-oyama.jp/>

編集・発行 / やしおママ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000

# 2017年 成果を出す。 さらに挑戦を続ける。



いよいよ2017年が始まりました。本年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう祈念いたしております。さて、私も今年で2013年9月に市長に就任してから1期の任期満了である4年目を迎えることとなりました。八潮市を「住みやすさナンバー1(ワン)のまち」にすべく、マニフェストの実現に向けて邁進して参りました。この活動レポート「風」の昨年の紙面では2016年を充実の年とする決意を述べさせて戴きましたが、多くの皆様の温かい励ましとご理解、ご協力を賜りまして、お陰さまでひとつひとつ現実のかたちになり始めております。

### 第5次八潮市総合計画をスタート。待機児童ゼロ、子育て保育環境の向上にも成果が…。

今後約10年間の市政の方向性を定めた「第5次八潮市総合計画」をスタート、そのもとで将来人口10万人を目指すための「八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、八潮市公共施設マネジメント基本計画なども動きだし、10月には、子育てしやすさナンバー1のまち・八潮を目指す一環として、子育て親子が気軽に集うことができ、地域の子育て情報や家庭訪問型子育て支援が受けられる「やしお子育てほっとステーション」もオープンしました。また、待機児童ゼロや小中学校耐震化100%も達成しています(昨年の主な取組につきましては裏面をご覧ください)。

今年2017年は、昨年を踏まえて、より具体的な成果を出していく年と位置づけ、全力を挙げて取り組む覚悟です。

### 県内初の「小中学生に対する教育資金貸付」がスタート、小中学生の医療費の全額助成も始まる。

昨年12月には埼玉県内で初となる「小中学生に対する教育資金貸付制度」をスタートさせました。これは小学生のご家庭には5万円、中学生のご家庭には10万円を貸付上限額として無利子で貸し付ける制度(返還期限は翌月から1年以内)です。小中学校の入学時、ランドセル等や制服の準備に対して支援制度が必要な時、これまでの就学援助制度では支払いが学期末となるため間に合いません。そこで入学前に必要な負担への支援を求める声に応えたものです。

さらに懸案であった小中学生の医療費の全額助成も始まります。これまで八潮市では、0歳から中学3年生までの子どもの入院と小学校就学前までの子どもの通院については全額助成していた一方で、小学生・中学生の医療費は1割負担が発生していました。それが本年4月から、小学生・中学生の医療費を全額助成するように新たに制度が変わります。

### まちの魅力を発信するシティセールスプランを推進。協働と共生のまちづくりを力強く進める。

さらに新たに「八潮市シティセールスプラン」をスタートさせます。

シティセールスとは、都市の魅力を高め、その魅力を効果的に内外に情報発信し、地域産業の活性化や市民のまちへの愛着の醸成に繋げていく取り組みです。八潮市ではプランの計画期間は平成29年度から平成33年度までの5年間。メインテーマとしては、「楽しく学ぶ」をキーワードにしており、市の様々な取組を「楽しく学ぶ」と掛け合わせて効果的に発信してまいります。

今、八潮の市内で人口移動が起っています。駅

周辺にはマンションや集合住宅が数多く建設されています。都内や近隣市からも入ってくる方が多いことは勿論、市内の方々の中でも駅周辺に移動する方が増えています。

この流れを見すえた上で、八潮市の地域間の個性と全体のバランスを考えたまちづくりが急務となっています。ハード面を整備しただけではまちとしての魅力を発信できないでしょう。そこに集い、憩う市民の皆様が八潮市に住みやすさとそして誇りを実感して戴くためにはソフト面での施策が重要です。

前述の「第5次八潮市総合計画」で私は教育文化やコミュニティを最初に挙げさせて戴いた真意もそこにあります。新しく住む方々と地域に長年住んでいる方々が交流し、お互いに協力し合って地域社会を育んでいく、そのために協働と共生のまちづくりが望まれています。

八潮市を住みやすさナンバー1(ワン)にするため、本年も皆様とともに語り合い、手を携えて力強く前進を続けて参ります。

## 八潮市長 大山しのぶ

### 大山忍(おおやま・しのぶ) プロフィール

- 昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(59歳)
- 八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒。
- 大学卒業後、機械メーカーでサラリーマン～国会議員秘書経験12年。
- 平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ。
- 平成12年、埼玉県議会議員に初当選。(4期連続当選)
- 平成25年9月8日の八潮市長選挙に立候補。1万9717票をいただき、八潮市長に初当選。



八潮中央交番開所式



第5回八潮市民さいかつぼーる大会



第42回八潮市農業祭



第25回やしお市民まつりパレード



2017年 成果を出す。  
さらに挑戦を続ける。

# 2016年 活動ダイジェスト

大山しのぶ市長のリーダーシップのもとで、昨年も八潮市では新しい取組がスタートしました。今回はその一端をご紹介します。

## 自転車事故減少に向けて条例制定 総合的な対策を進めて、効果が表れる。

### 「八潮市自転車の安全な利用の促進に関する条例」施行(4月)

八潮市は、人口1万人あたりの自転車による交通事故死傷者数が、平成24年から4年連続で県内ワースト1位となっています。そこで大山しのぶは、その解決に向けて、市民、自転車利用者、事業者、関係団体および警察その他関係機関と連携し、自転車の安全な利用の促進を総合的に推進するため、同条例を策定、施行しました。

市では、条例施行に合わせ、新たに自転車ヘルメットを購入した市内中学生以下または高齢者に補助金を交付しています(通学用ヘルメットは対象外)。

また、このほか7月上旬には市内3中学校でスケアード(恐怖)・ストレイト(直視)教育技法を用いた交通安全教室を開催し、約1,600人の児童生徒が参加。11月下旬には市役所1階ロビーに自転車シミュレーターを設置し、来庁者に体験してもらうなど、対策に取り組んでいます。この効果もあって、自転車事故は減少し、昨年からはワースト1を返上することが出来ました。



八潮市消防団夏季訓練

## リーダーシップを発揮して県内3例目…。 消防・災害能力向上に向け、広域化を実現

### 草加八潮消防組合発足(4月)

市民の安全・安心な暮らしを守るため、4月1日から八潮市と草加市の消防業務を共同で行う広域化が図られました。県内の広域化としては3例目となります。この広域化により、「災害出動体制が強化」「災害現場などで活躍する隊員の増強」「高度な資機材の整備と専門業務に対応する職員の育成」「緊急車両の到着時間の短縮」が図られます。

## 市内に保育施設を急ピッチで整備。 八潮市は待機児童ゼロを実現!

### 待機児童の解消(平成28年4月1日時点)

待機児童問題はどこでも頭の痛い問題ですが、八潮市では大山しのぶの強い指導力で解決を進めています。八潮市では、平成27年度から平成31年度までを計画期間とした「八潮市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、その中の取組として、小規模保育の整備を進めました。市内では低年齢の待機児童対策として、28年度から4か所が新たに開園し、待機児童ゼロが達成されました。



第10回八潮市新人オーディション

## 県内初となる効果的な条例を制定。 八潮の景観の魅力と価値を高める!

### 「八潮市まちの景観と空家等の対策の推進に関する条例」制定(6月)

老朽建築物やごみ屋敷も対象となる条例を制定。条例の特徴としては、空家等

への対策以外にも、まちの景観という視点から、「老朽建築物」や「ごみ屋敷」などを特定居住物件等と位置付け、助言または指導、勧告や命令を行い、従わない場合には、行政代執行ができるように決めました(人が住むごみ屋敷を特定居住物件として位置付け、行政代執行までできるようにしたのは県内初)。

大山しのぶは単なる老朽建築物の対策としてではなく、八潮市の景観という魅力を増し、価値を高めていくという姿勢から進めていることが高く評価されています。



やしお市民大学学生企画公開講座

## 手つかずの難問の解決に乗り出す。 公共施設の安全を将来にまで確保するために

### 八潮市公共施設マネジメント基本計画を策定(7月)

市の公共施設の多くは整備後30~40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。今後、その建替えや改修などに多額を要することから、今後30年間の長期的な視点に基づき、公共施設の建替え・統廃合・長寿命化などの取り組み方針を基本計画として定めています。この公共施設マネジメントは理解はされていながらもなかなか手をつけることの難しい課題でしたが、大山しのぶは、解決に向けて、公共施設の「量」の適正化、「公共サービス」の内容の見直し、「全体最適」の視点に基づく公共施設の配置の取り組みを進めています。



第25回やしお市民まつり開会式

## オープン直後から大きな反響が 子育て環境の向上に、さらなる設置も!

### やしお子育てほっとステーション開設(10月)

子育て環境の向上を重視する大山しのぶは、市長就任直後からサポート体制の充実に取り組んできました。その一環として、子育て親子が気軽に集える「子育てひろば」や地域の子育て情報を紹介する「子育てコーディネーター」のサービスを利用できるほか、育児・介護支援などで訪問を行う「ホームスタート」の拠点となる「やしお子育てほっとステーション」を10月3日に開設しました。

同施設はNPO法人「病児保育を作る会」に委託しており、3つの事業をいずれも無料で受けることが可能。初日は約400人の親子が訪れ、その反響の大きさに驚きました。今後、さらなる施設の充実を検討しています。



やしお子育てほっとステーション開所式

## 八潮市のホームページがリニューアル!!

利用者が必要な情報を探しやすい、分かりやすいサイトを目指し、ホームページを11月1日にリニューアルしました。ページデザインを大幅に変更したほか、大規模災害時の専用トップページやキッズページの新設、アクセシビリティの向上なども図られています。今後は他のSNSともさらに連携を図り、より積極的に情報の発信を進めて参ります。



大山しのぶ  
事務所

埼玉県八潮市八潮2-18-8 パークアヴェニューK  
TEL.048-994-6000 FAX.048-994-6001

最新情報は  
WEBで!

ホーム  
ページ  
公式  
ブログ

<http://www.s-oyama.jp/>  
<http://ameblo.jp/oyama-shinobu/>